

アイコン表示について

- 収納** キッチンに存在する様々な種類、カタチのモノを美しく使いやすく収納できる
- 会話** 家族や友人と作業をしながら会話ができる。コミュニケーション力が高いキッチン
- 個性** 個性を生かしたオリジナル志向の高いキッチン。素材や形も既存の枠にとられない
- プロ** プロ仕様を意識した造作や設備が特徴。キッチンというよりは厨房に近い感覚
- LOW** コストパフォーマンスのいいクオリティキッチン。一般的なローコストとはひと味違う

会話を楽しみながら調理をしたい!なら

オープンタイプの
リビングインキッチン

家事をスイスイこなしたい!なら

生活動線を重視した
レイアウトで

いつもラクしてキレイに見せたい!なら

「隠す&見せる」の
収納テクを駆使する

狭くても使いやすいキッチンが欲しい!なら

工夫とアイデア満載で
使いやすさを実現

個性的で自分らしいキッチンが欲しい!なら

なんでもありの
ユニークキッチン

こんなキッチンが欲しい!に お応えします

キッチンの「冬の時代」は終わりました。
昔は家の片隅に置かれたキッチンが、今は堂々と家の中央へ。
そこは家族がともに料理をつくり、食卓を囲み、子どもたちを育てていく場所。
キッチンを中心に回る家族の生活があります。
キッチンがよければ家族は幸せ!といっても過言ではありません。
今号で紹介するキッチンはなんと50軒!!
あなたが欲しかった「こんなキッチン」も必ずあります!

Kitchen1・2 / 桑田瑞穂、3 / 目黒伸宜 = 撮影 Kitchen1・2 / 大山直美、3 / 松浦美紀 = 取材・文
Kitchen4 ~ 50 / 大槻夏路、川辺明伸、キッチン・ミノル、桑田瑞穂、後藤徹雄、傍島利浩、滝浦 哲、タナカシンイチ、
西田香織、長谷部 均、目黒伸宜 = 撮影 田中敦子 = 構成・文 藤井香与子・藤井紅三子 = イラスト

The Best Kitchen 50



1階から上がった家族の顔がすぐ見えるから、帰宅した子どもの様子も分かり、自然な会話が交わされる。左奥には広いパントリーがあり、冷蔵庫も納まっている



会話を楽しみながら調理をしたい! なら

オープンタイプの リビングインキッチン

Kitchen

Open type Kitchen!



1

子どもを見守りながら、 ときにはテラスを眺めながら、 調理ができるファミリーキッチン

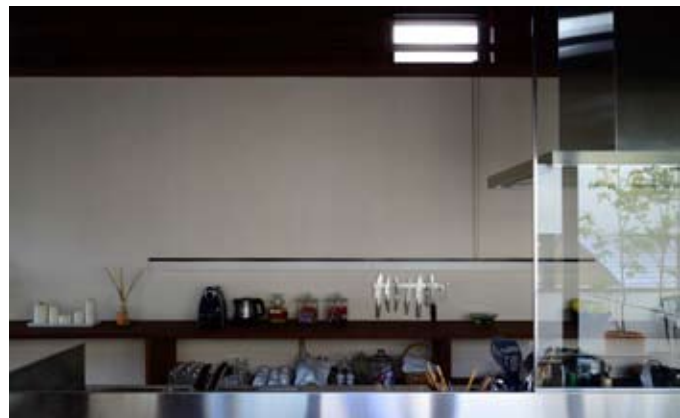
奈良・奈良市 Yさんの家 家族構成/夫40代 妻30代 長男8歳 長女1歳 設計/角直弘

会話 プロ 収納

**開放的な住まいの中心に
主役のキッチンを据える**

玄関から2階上がったとたん、目に入るのは輝くステンレスのオープンキッチン。ガラス越しにコンロにかけた鍋の様子まで見え、まるで料理の美演を眺めているようで楽しい。家族との会話はずみそつだ。

Yさん夫妻は2人の子どもの抱える子育て真っ盛り世代。家を建てるにあたり、夫妻が望んだのは、街中にあっても緑が身近に感じられる開放的な住まい。その中心にキッチンを据えることが妻の希望だったという。



ルーフトラス側からキッチンを見返す。背面の棚にさりげなく置かれた道具や器に住み手のセンスが感じられる

そこで建築家の角直弘さんは、2階に広いルーフトラスを設け、そのテラスと連続するようワンルーム状のLDKを配した。「キッチンが家族の様子がかかる司令塔であると同時に、家の中で一番気持ちいい場所にしたかったと角さん。

ゆるく傾斜した濃い茶色の天井の下に広がる大らかな空間に、ざっくりとした表情のステンレスキッチンが不思議と馴染んで見える。2階ばかりか1階の様子も分かり、眼前のテラスの緑を見ながら料理ができるキッチンはまさに特等席。「街中なのに季節の変化をすごく感じます。家を大事にしたい気持ちがとても強くなりました。キッチンも毎日磨いて、きれいに使いたいですね」と、妻はとても満足そつだ。



左手にあるテラスからの光を受けて輝くステンレスのキッチン。構造材を塗装した天井、塗り壁、板張りの床に囲まれた、温かみのある空間に映える



一直線に伸びる杉のカウンターは長さ約7.6m。奥のダイニング側では飾り棚としても活躍。上部の白いラインは照明器具

Kitchen Data

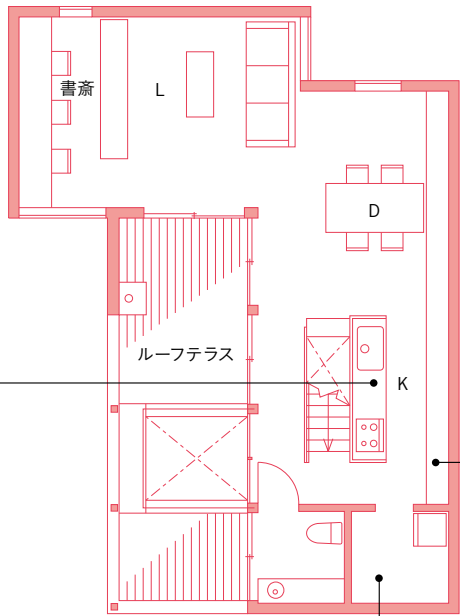
- キッチン本体 ▶ オリジナル(ナスラック)
- レンジフード ▶ アリアフィーナ CFED-951S
- ガスコンロ ▶ ハーマン DW35F2JTKSTE
- 水栓金具 ▶ KVK KM556DGNAS



レンジの前面の壁もガラス製で家が見渡せるので、夫やまだ小さい長女とのコミュニケーションもスムーズ。階段の枠も手前の腰壁もステンレスで一体感を

キッチンから正面のルーフテラスの緑を眺めたところ。テラスは全体をほどよく壁で囲んで、プライバシーと開放感を両立させている

POINT (キッチンプランここに注目!)



キッチンの見通し。ざっくりしたシンプルなつくりで、シンクやレンジの下もオープンが基本



テラスの緑が見える

眼前のテラスに置いたコンテナや階下の中庭から伸びた木々の緑が存分に眺められる

Data

- 敷地面積 / 119.88㎡ (36.33坪)
- 延床面積 / 107.32㎡ (32.52坪)
- 用途地域 / 商業地域
- 建ぺい率 / 80%
- 容積率 / 252%
- 構造 / 木造軸組工法

Material

- [外部仕上げ] 屋根/ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き 外壁/モルタル塗り、一部板張り
- [内部仕上げ] 2階 床/杉フローリング 壁/生石灰クリューム塗り 天井/構造用合板表し

Instruments

- 窓・サッシ/トステム(LIXIL)

設計/角直弘(設計組織DNA)
〒604-8166 京都市中京区三条通
烏丸西入御倉町85-1 烏丸ビル4F
☎ 075・255・7120

施工/ASJ奈良スタジオ
☎ 0742・36・3159
プロデュース/アーキテツク・スタジオ・ジャパン

パントリー

表に出したくない雑多なものをすべてしまえる大容量のスペース。冷蔵庫もここに設置

**ロングカウンター
収納+配膳**

ダイニングまで伸びる長いカウンターは、作業台とオープンな収納棚を兼ねている



Architect's profile
角直弘

1964年大阪府生まれ。京都府立大学卒業。高松伸建築設計事務所勤務を経て、'93年角直弘建築設計事務所設立。'96年設計組織DNA結成。



1. 業務用キッチンを思わせる頑丈そうなダブルシンク 2. ガスレンジ下は鍋専用のオープン棚に。設備も道具も最小限だが、これで十分、ものは増やしたくないと妻は語る

Here is my favorite space



キッチンは奥のリビングや階下のプライベートリビングともゆるく連続している

COLUMN

わが家のキッチンでは、自然に食育ができてしまいます

階段を上りきった目の前にあり、ついつい「今日のおかずは何か」とのぞきたくなるオープンなキッチンは、子どもが自然と食に関心を持つきっかけになる場。料理上手な母の手元を見ているだけでも楽しい。これから長女が成長すれば、親子で台所に立つ機会もさらに増えるに違いない。



リビング側からダイニングを見る。この日は子どもたちの面倒を見て来てくれたいとこと一緒に食卓を囲んで、賑やかなランチに

